

2020年度 年間授業計画（星翔高等学校）

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	コミュニケーション システム工学		ソフトウェア技術	2	狭間
担当（該当クラス）					
<p>この科目を履修するための条件や準備 復習すること。日頃からプログラミングに関心をもつように心がけること。 ノート・教科書・平成31年度版 3級情報技術検定試験 標準問題集を必ず用意すること。</p>					
<p>この科目のねらい 目標 コンピュータのプログラミングに関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。そのためにまず、コンピュータによる問題処理の手順を理解し、次に実際のプログラムを作成するための技法を身につける。</p>					
<p>具体的な指導方法 授業開始時に前回の授業分のノートチェックと宿題のチェックを行う。 プリントを使用して問題演習を行う。</p>					
使用教材					
<p>使用する教科書 7実教 「工業333 プログラミング技術」</p>			<p>使用する副読本 平成31年度版 3級 情報技術検定試験 標準問題集</p>		
<p>評価方法 定期考査(年間5回)・平常点(授業態度・提出物・出席状況など)などで総合的に判断する。</p>					
<p>年間授業計画</p> <p>I. 1学期中間考査まで</p> <p>※4、5月の課題および1学期末考査後の補充授業で対応</p> <p>教科書 85～97 ページ 第2章 プログラミング技法 I (2節 プログラムの制御構造)</p> <p>II. 1学期期末考査まで</p> <p>教科書 30～40 ページ 第2章 プログラミング技法 I (1節 基本的なプログラム)</p> <p>III. 2学期中間考査まで</p> <p>教科書 41～58 ページ 第2章 プログラミング技法 I (1節 基本的なプログラム)</p> <p>IV. 2学期期末考査まで</p> <p>教科書 59～75 ページ 第2章 プログラミング技法 I (2節 プログラムの制御構造)</p> <p>V. 学年末考査まで</p> <p>教科書 76～84 ページ 第2章 プログラミング技法 I (2節 プログラムの制御構造)</p>					